

# ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・豪州・フォーカス)

## 運用報告書(全体版)

第12期(決算日2021年9月13日)

作成対象期間(2020年9月15日~2021年9月13日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2009年12月7日から2024年9月12日までです。	
運用方針	野村豪州株マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてオーストラリアの企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・豪州・フォーカス)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	オーストラリアの企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ノムラ・アジア・シリーズ (ノムラ・豪州・フォーカス)	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		税金	配分	騰落率	騰落	騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円	
8期(2017年9月12日)	15,386	300	29.3	129.18	21.3	88.9	—	265	
9期(2018年9月12日)	14,262	200	△ 6.0	126.14	△ 2.4	86.6	—	244	
10期(2019年9月12日)	15,336	300	9.6	126.99	0.7	88.0	—	244	
11期(2020年9月14日)	14,623	250	△ 3.0	116.61	△ 8.2	89.1	—	512	
12期(2021年9月13日)	19,459	500	36.5	154.48	32.5	89.6	—	535	

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*ベンチマーク（=S&P/ASX200指数（円換算ベース））は、S&P/ASX200指数（豪ドルベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。設定時を100として指数化しております。

\*S&P/ASX200指数は、スタンダード&プアーズが発表している、オーストラリア証券取引所上場の時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービス エル エル シーに帰属しております。

(出所) ブルームバーグ、為替レート（対顧客電信売買相場仲値）

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
		騰落	騰落率	騰落	騰落率		
(期首)	円		%		%	%	%
2020年9月14日	14,623	—	—	116.61	—	89.1	—
9月末	14,455	△ 1.1	—	115.74	△ 0.7	89.0	—
10月末	13,951	△ 4.6	—	112.95	△ 3.1	89.1	—
11月末	16,247	11.1	—	130.78	12.1	89.1	—
12月末	17,156	17.3	—	136.07	16.7	89.1	—
2021年1月末	16,910	15.6	—	137.17	17.6	89.6	—
2月末	18,516	26.6	—	146.66	25.8	89.8	—
3月末	18,508	26.6	—	146.43	25.6	90.4	—
4月末	19,869	35.9	—	154.61	32.6	90.7	—
5月末	20,169	37.9	—	156.42	34.1	92.0	—
6月末	20,161	37.9	—	156.33	34.1	92.8	—
7月末	20,141	37.7	—	154.49	32.5	93.4	—
8月末	19,935	36.3	—	155.00	32.9	91.8	—
(期末) 2021年9月13日	19,959	36.5	—	154.48	32.5	89.6	—

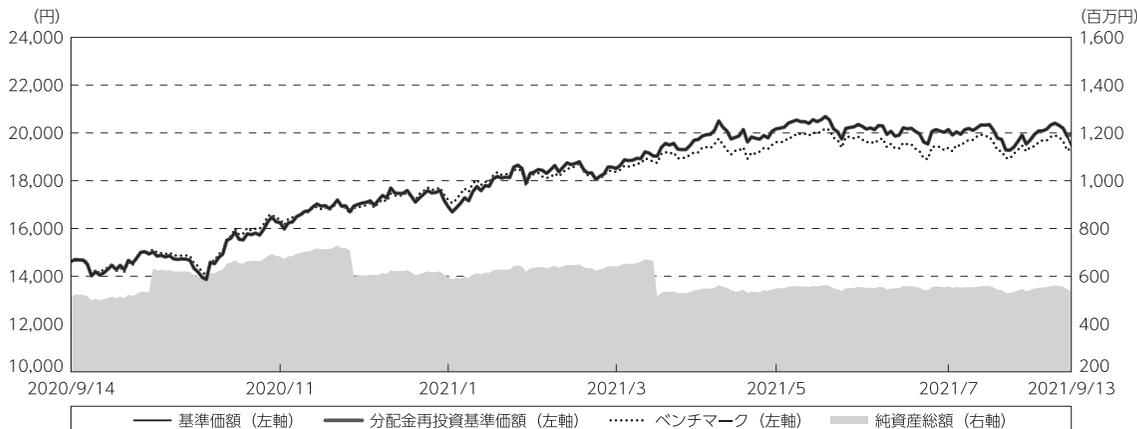
\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

\*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



期 首：14,623円

期 末：19,459円 (既払分配金(税込み)：500円)

騰落率： 36.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2020年9月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、S&P/ASX200指数(円換算ベース)です。ベンチマークは、作成期首(2020年9月14日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

- (上 昇) RBA(豪州準備銀行)による利下げや量的緩和拡大の決定が好感されたこと、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を受け経済活動回復への期待が高まったこと
- (上 昇) 商品市況高や大手資源会社の堅調な決算が好感されたこと、ワクチン接種普及による経済正常化への期待が高まったこと、大規模な米追加経済対策の成立やRBAによる金融緩和策の継続が好感されたこと
- (横ばい) 新型コロナウイルス変異株の世界的な感染拡大や国内における一部州でのロックダウン(都市封鎖)強化が懸念されたこと、一方で企業の好決算や米国の慎重に金融政策を進める姿勢などが好感されたこと

## ○投資環境

豪州株式市場は、期初、豪政府が景気刺激策を盛り込んだ予算案を発表したことや、大手銀行の配当再開への期待などから上昇して始まりましたが、その後は欧米での新型コロナウイルスの感染再拡大や経済活動の制限再強化の動きなどから、世界的な景気回復への不透明感が強まり下落に転じました。2020年11月以降は、RBAによる利下げや量的緩和拡大の決定が好感されたことや、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を受け経済活動回復への期待が高まったことなどから商品市況が反発し、資源関連株を中心に2021年1月中旬にかけて上昇しました。

1月下旬以降は、米長期金利の上昇が警戒されたことや、一部州でのロックダウンが嫌気され下落する場面がありましたが、商品市況の上昇や大手資源会社の堅調な決算、ワクチン接種普及による経済正常化への期待などから上昇し、その後も大規模な米追加経済対策の成立やRBAによる金融緩和策の継続などを背景に5月上旬にかけて上昇基調で推移しました。

5月中旬以降は、米国のインフレ加速への警戒感から世界的な株安になり下落したものの、1-3月期の実質GDP（国内総生産）成長率が市場予想を上回ったことや、商品市況高を受け再び反発しました。6月下旬以降は、新型コロナウイルス変異株の世界的な感染拡大や国内の一部州でのロックダウン強化、商品市況の下落などが嫌気された一方で、企業の好決算や米国の慎重に金融政策を進める姿勢などが好感され、一進一退の動きとなりましたが、当期において、豪州株式市場は上昇しました。

一方、為替市場では、期初、新型コロナウイルスの感染再拡大から投資家のリスク回避姿勢が強まり、豪ドル安・円高基調で推移しました。2020年11月以降は、新型コロナウイルスのワクチン接種進展による景気回復期待や商品市況高を背景に豪ドル高・円安基調で推移しました。2021年6月下旬以降は、国内における新型コロナウイルスの変異株の感染拡大に伴う外出規制強化に加えて鉄鉱石などの資源価格の下落、主要貿易相手国である中国の景気減速懸念などから豪ドル安・円高基調で推移したものの、当期においては豪ドル高・円安となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [野村豪州株マザーファンド]

#### ・期中の主な動き

#### <投資比率を引き上げた主な業種・銘柄>

- ①低金利環境における底堅いオフィス需要の恩恵が見込め、株価のバリュエーション（投資価値評価）に割安感があると判断したDEXUS/AU（不動産投資信託）
- ②ニュージーランドの経済回復の恩恵が期待でき、株価のバリュエーションに割安感があると判断したAUSTRALIA & NEW ZEALAND BANK（銀行）

### ＜投資比率を引き下げた主な業種・銘柄＞

- ①堅調な住宅市況を背景に株価が上昇し、バリュエーションの割高感が高まったと判断した STOCKLAND TRUST GROUP（不動産投資信託）
- ②堅実な業務運営を背景に競合他社と比べ相対的に株価が堅調に推移し、バリュエーションの割高感が高まったと判断した COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA（銀行）

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

### 〔ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・豪州・フォーカス）〕

#### ・組入比率

主要投資対象である〔野村豪州株マザーファンド〕受益証券を、期を通じておおむね高位に組み入れました。

#### ・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

### ○当ファンドのベンチマークとの差異

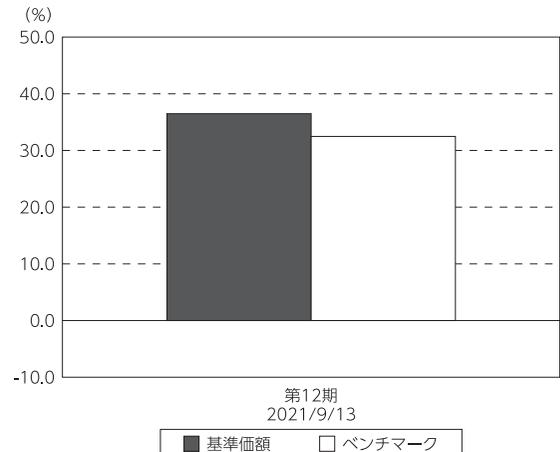
当期は、ベンチマーク（S&P/ASX200指数（円換算ベース））が32.5%の上昇となったのに対して、基準価額は36.5%の上昇となりました。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

#### （主なプラス要因）

- ①オンラインカジノゲームの堅調な売り上げが好感され株価騰落率がベンチマークを上回ったホテル・レストラン・レジャー株をベンチマークより高い投資比率としていたこと
- ②同業他社による買収発表が好感され株価騰落率がベンチマークを上回った建設・土木株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、S&P/ASX200指数（円換算ベース）です。

**（主なマイナス要因）**

- ①金価格の下落を背景に株価騰落率がベンチマークを下回った金属・鉱業株をベンチマークより高い投資比率としていたこと
- ②安定した収益が期待できるものの、ディフェンシブ（景気に左右されにくい）な特性から株価騰落率がベンチマークを下回った容器・包装株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

**◎分配金**

今期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり500円とさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

**○分配原資の内訳**

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第12期
	2020年9月15日～ 2021年9月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	500 2.505%
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,620

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [野村豪州株マザーファンド]

#### ・投資環境

- ①豪州経済については、一部州でのロックダウンの強化で経済活動の再開に遅れが見られ、消費や企業の景況感に一時的にマイナスの影響が出ています。一方で、ワクチン接種が加速しており、政府による減税等の経済対策や高い貯蓄率などが個人消費を下支えすると考えます。RBAは9月7日の政策会合で政策金利を過去最低の0.10%に据え置き、予定通り債券購入を縮小しました。一方で、債券購入期間の延長を決定したことから、引き続き、政府による景気刺激策やRBAによる低金利政策が豪州経済を下支えすると見えています。
- ②株式市場については、短期的には資源関連株を中心に、新型コロナウイルスの感染状況や経済正常化の動き、資源価格の動向等に左右される展開が予想されます。一方で、私的年金からの継続的な資金流入があることや景気回復の恩恵を受けやすい金融セクターや資源セクターの構成比率が高いこと、政府債務が低水準であり、インフラ整備等の財政出動による景気刺激の余地があることなどが市場を下支えすると見えています。

#### ・投資方針

- ①業種別配分については、世界的な景気回復への期待から資源価格が底堅く推移していることなどから、資源関連株について引き続き投資比率を高め維持する方針です。金融セクターについては、各種金融株の投資比率を高め維持する方針です。一方で、銀行株については、厳しい競争環境や景気の不透明感などから投資比率を低めに維持しているものの、今後、経済正常化による利益回復が見込めることから、投資比率の引き上げを検討する方針です。高齢化や教育需要の高まりなど、中長期のテーマで成長が期待できる銘柄については、幅広い業種で投資を行なう方針です。
- ②銘柄選択は、個別企業の財務リスクなどに注意しながら、今後も高い成長が期待でき、かつ成長性と比較して割安と判断される銘柄などを中心に投資を行なう方針です。

### [ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・豪州・フォーカス）]

[野村豪州株マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指して積極的な運用を行ないます。実質組入外貨建資産については、引き続き、為替ヘッジを行わない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年9月15日～2021年9月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 306	% 1.700	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(148)	(0.823)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(148)	(0.823)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	( 10)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.053	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	( 8)	(0.045)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 2)	(0.009)	
(c) そ の 他 費 用	15	0.082	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 14)	(0.077)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	331	1.835	
期中の平均基準価額は、18,001円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

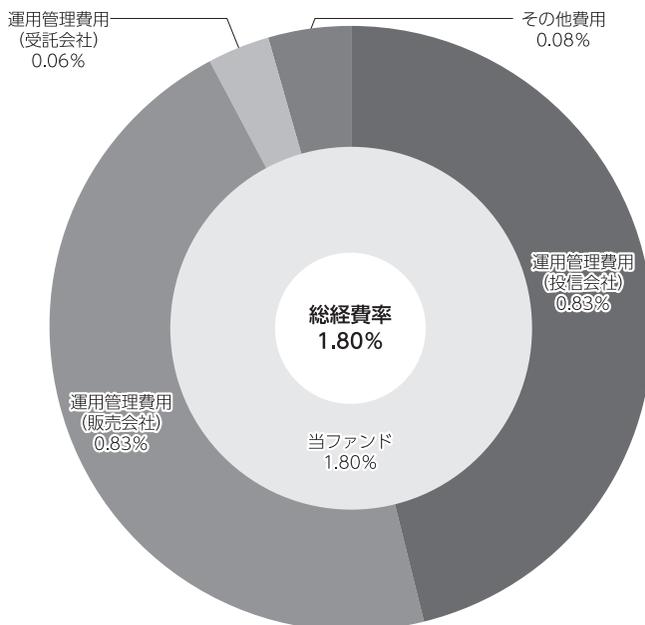
\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年9月15日～2021年9月13日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村豪州株マザーファンド	千口 69,777	千円 151,927	千口 134,214	千円 329,733

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2020年9月15日～2021年9月13日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村豪州株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	679,439千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	529,836千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.28	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年9月15日～2021年9月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年9月13日現在)

## 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村豪州株マザーファンド	千口 258,340	千口 193,904	千円 534,633

\*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村豪州株マザーファンド	534,633	96.4
コール・ローン等、その他	19,779	3.6
投資信託財産総額	554,412	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*野村豪州株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（530,134千円）の投資信託財産総額（534,637千円）に対する比率は99.2%です。

\*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1豪ドル=80.97円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月13日現在)

## ○損益の状況 (2020年9月15日～2021年9月13日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	554,412,723
コール・ローン等	19,779,639
野村豪州株マザーファンド(評価額)	534,633,084
(B) 負債	18,711,883
未払収益分配金	13,764,888
未払解約金	50,552
未払信託報酬	4,887,040
未払利息	5
その他未払費用	9,398
(C) 純資産総額(A-B)	535,700,840
元本	275,297,777
次期繰越損益金	260,403,063
(D) 受益権総口数	275,297,777口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,459円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 714
支払利息	△ 714
(B) 有価証券売買損益	144,859,100
売買益	196,208,837
売買損	△ 51,349,737
(C) 信託報酬等	△ 10,067,652
(D) 当期損益金(A+B+C)	134,790,734
(E) 前期繰越損益金	△ 9,472,548
(F) 追加信託差損益金	148,849,765
(配当等相当額)	( 153,223,716)
(売買損益相当額)	(△ 4,373,951)
(G) 計(D+E+F)	274,167,951
(H) 収益分配金	△ 13,764,888
次期繰越損益金(G+H)	260,403,063
追加信託差損益金	148,849,765
(配当等相当額)	( 153,306,979)
(売買損益相当額)	(△ 4,457,214)
分標準備積立金	111,553,298

(注) 期首元本額は350,790,204円、期中追加設定元本額は98,220,930円、期中一部解約元本額は173,713,357円、1口当たり純資産額は1,9459円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額1,882,381円。(野村豪州株マザーファンド)

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2020年9月15日～2021年9月13日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年9月15日～ 2021年9月13日
a. 配当等収益(経費控除後)	21,356,580円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	86,378,915円
c. 信託約款に定める収益調整金	153,306,979円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	17,582,691円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	278,625,165円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	10,120円
g. 分配金	13,764,888円
h. 分配金(1万口当たり)	500円

## ○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	500円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

## ○お知らせ

該当事項はございません。

# 野村豪州株マザーファンド

## 運用報告書

第12期（決算日2021年9月13日）

作成対象期間（2020年9月15日～2021年9月13日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	オーストラリアの企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、収益性、成長性、安定性、流動性等を総合的に勘案して、投資銘柄を選別します。また、トップダウン・アプローチによる業種別配分を加味し、ポートフォリオを構築します。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	オーストラリアの企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

### 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	騰落率	騰落率			
8期(2017年9月12日)	18,661	31.7	129.18	21.3	89.1	—	264
9期(2018年9月12日)	17,856	△ 4.3	126.14	△ 2.4	86.8	—	244
10期(2019年9月12日)	19,921	11.6	126.99	0.7	88.2	—	244
11期(2020年9月14日)	19,816	△ 0.5	116.61	△ 8.2	89.3	—	511
12期(2021年9月13日)	27,572	39.1	154.48	32.5	89.8	—	534

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

\*ベンチマーク(=S&P/ASX200指数(円換算ベース))は、S&P/ASX200指数(豪ドルベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算しております。設定時を100として指数化しております。  
 \*S&P/ASX200指数は、スタンダード&プアーズが発表している、オーストラリア証券取引所上場の時価総額上位200銘柄で構成される時価総額加重平均指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービス エル エル シーに帰属しております。  
 (出所) ブルームバーグ、為替レート(対顧客電信売買相場仲値)

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

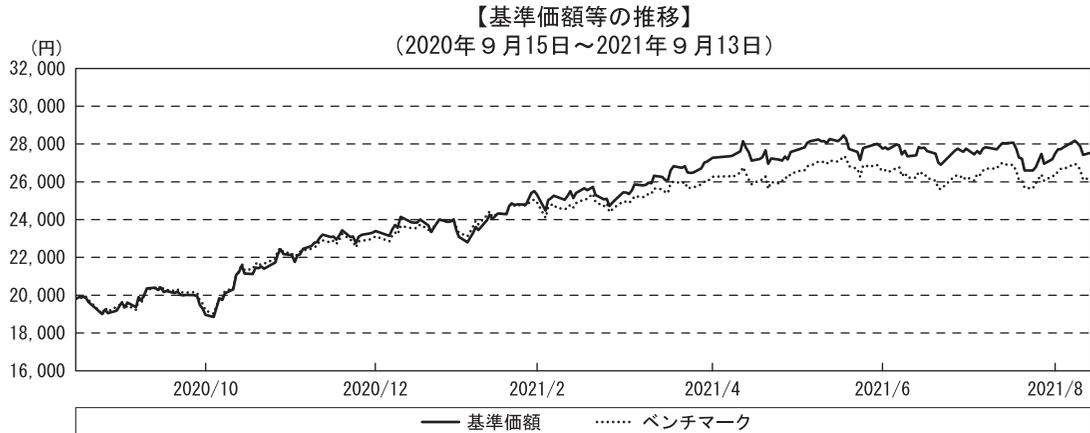
年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2020年9月14日	19,816	—	116.61	—	89.3	—
9月末	19,604	△ 1.1	115.74	△ 0.7	89.2	—
10月末	18,966	△ 4.3	112.95	△ 3.1	89.3	—
11月末	22,126	11.7	130.78	12.1	89.3	—
12月末	23,401	18.1	136.07	16.7	89.3	—
2021年1月末	23,095	16.5	137.17	17.6	89.8	—
2月末	25,327	27.8	146.66	25.8	90.0	—
3月末	25,354	27.9	146.43	25.6	90.6	—
4月末	27,269	37.6	154.61	32.6	90.9	—
5月末	27,723	39.9	156.42	34.1	92.2	—
6月末	27,751	40.0	156.33	34.1	93.0	—
7月末	27,759	40.1	154.49	32.5	93.6	—
8月末	27,517	38.9	155.00	32.9	92.0	—
(期末) 2021年9月13日	27,572	39.1	154.48	32.5	89.8	—

\*騰落率は期首比です。

\*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



(注) ベンチマークは、S&P/ASX200指数（円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,816円から期末27,572円となりました。

- (上 昇) RBA（豪州準備銀行）による利下げや量的緩和拡大の決定が好感されたこと、新型コロナウイルスのワクチン開発の進展を受け経済活動回復への期待が高まったこと
- (上 昇) 商品市況高や大手資源会社の堅調な決算が好感されたこと、ワクチン接種普及による経済正常化への期待が高まったこと、大規模な米追加経済対策の成立やRBAによる金融緩和策の継続が好感されたこと
- (横ばい) 新型コロナウイルス変異株の世界的な感染拡大や国内における一部州でのロックダウン（都市封鎖）強化が懸念されたこと、一方で企業の好決算や米国の慎重に金融政策を進める姿勢などが好感されたこと

## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・期中の主な動き

#### <投資比率を引き上げた主な業種・銘柄>

- ①低金利環境における底堅いオフィス需要の恩恵が見込め、株価のバリュエーション（投資価値評価）に割安感があると判断したDEXUS/AU（不動産投資信託）
- ②ニュージーランドの経済回復の恩恵が期待でき、株価のバリュエーションに割安感があると判断したAUSTRALIA & NEW ZEALAND BANK（銀行）

#### <投資比率を引き下げた主な業種・銘柄>

- ①堅調な住宅市況を背景に株価が上昇し、バリュエーションの割高感が高まったと判断したSTOCKLAND TRUST GROUP（不動産投資信託）
- ②堅実な業務運営を背景に競合他社と比べ相対的に株価が堅調に推移し、バリュエーションの割高感が高まったと判断したCOMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA（銀行）

### ・為替ヘッジ

当ファンドの方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

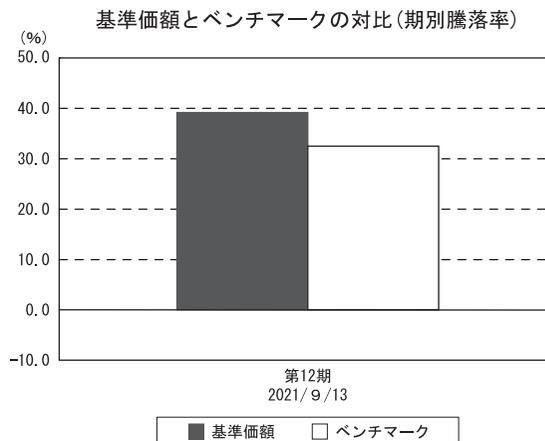
当期は、ベンチマーク（S&P/ASX200指数（円換算ベース））が32.5%の上昇となったのに対して、基準価額は39.1%の上昇となりました。

### （主なプラス要因）

- ①オンラインカジノゲームの堅調な売り上げが好感され株価騰落率がベンチマークを上回ったホテル・レストラン・レジャー株をベンチマークより高い投資比率としていたこと
- ②同業他社による買収発表が好感され株価騰落率がベンチマークを上回った建設・土木株をベンチマークより高い投資比率としていたこと

### （主なマイナス要因）

- ①金価格の下落を背景に株価騰落率がベンチマークを下回った金属・鉱業株をベンチマークより高い投資比率としていたこと
- ②安定した収益が期待できるものの、ディフェンシブ（景気に左右されにくい）な特性から株価騰落率がベンチマークを下回った容器・包装株をベンチマークより高い投資比率としていたこと



（注）ベンチマークは、S&P/ASX200指数（円換算ベース）です。

## ◎今後の運用方針

### ・投資環境

- ①豪州経済については、一部州でのロックダウンの強化で経済活動の再開に遅れが見られ、消費や企業の景況感に一時的にマイナスの影響が出ています。一方で、ワクチン接種が加速しており、政府による減税等の経済対策や高い貯蓄率などが個人消費を下支えすると考えます。RBAは9月7日の政策会合で政策金利を過去最低の0.10%に据え置き、予定通り債券購入を縮小しました。一方で、債券購入期間の延長を決定したことから、引き続き、政府による景気刺激策やRBAによる低金利政策が豪州経済を下支えすると見えています。
- ②株式市場については、短期的には資源関連株を中心に、新型コロナウイルスの感染状況や経済正常化の動き、資源価格の動向等に左右される展開が予想されます。一方で、私的年金からの継続的な資金流入があることや景気回復の恩恵を受けやすい金融セクターや資源セクターの構成比率が高いこと、政府債務が低水準であり、インフラ整備等の財政出動による景気刺激の余地があることなどが市場を下支えすると見えています。

### ・投資方針

- ①業種別配分については、世界的な景気回復への期待から資源価格が底堅く推移していることなどから、資源関連株について引き続き投資比率を高めに維持する方針です。金融セクターについては、各種金融株の投資比率を高めに維持する方針です。一方で、銀行株については、厳しい競争環境や景気の不透明感などから投資比率を低めに維持しているものの、今後、経済正常化による利益回復が見込めることから、投資比率の引き上げを検討する方針です。高齢化や教育需要の高まりなど、中長期のテーマで成長が期待できる銘柄については、幅広い業種で投資を行なう方針です。
- ②銘柄選択は、個別企業の財務リスクなどに注意しながら、今後も高い成長が期待でき、かつ成長性と比較して割安と判断される銘柄などを中心に投資を行なう方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2020年9月15日～2021年9月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 13 (11) (2)	% 0.053 (0.045) (0.009)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	19 (19) (0)	0.078 (0.077) (0.001)	(b) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	32	0.131	
期中の平均基準価額は、24,657円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年9月15日～2021年9月13日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	オーストラリア	百株	千豪ドル	百株	千豪ドル
		2,443 (132)	3,358 (13)	7,199	4,876
国	ニュージーランド	68 (584)	千ニュージーランドドル 64 (一)	779	千ニュージーランドドル 137

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	オーストラリア	口	千豪ドル	口	千豪ドル
	STOCKLAND TRUST GROUP	8,972	36	165,807	734
	DEXUS/AU	45,532 (△10,570)	449 (△94)	3,060	30
	DEXUS/AU	— ( 10,570)	— ( 94)	—	—
小計		54,504	486	168,867	765

\*金額は受け渡し代金。

\*金額の単位未満は切り捨て。

\*( )内は分割、合併、有償増資などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

\*銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○株式売買比率

(2020年9月15日～2021年9月13日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	679,439千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	529,836千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.28

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年9月15日～2021年9月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2021年9月13日現在)

## 外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千豪ドル	千円		
AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANK	—	148	409	33,152	銀行	
AMCOR PLC-CDI	311	134	224	18,182	容器・包装	
FORTESCUE METALS GROUP LTD	322	223	408	33,048	金属・鉱業	
BHP GROUP LIMITED	154	106	438	35,544	金属・鉱業	
CSL LIMITED	12	9	282	22,908	バイオテクノロジー	
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	66	—	—	—	銀行	
BORAL LTD	434	—	—	—	建設資材	
RIO TINTO LTD	56	42	447	36,217	金属・鉱業	
ARISTOCRAT LEISURE LTD	127	127	596	48,321	ホテル・レストラン・レジャー	
FLIGHT CENTRE TRAVEL GROUP LTD	129	—	—	—	ホテル・レストラン・レジャー	
NATIONAL AUSTRALIA BANK	150	201	571	46,306	銀行	
NEWCREST MINING	113	84	201	16,341	金属・鉱業	
IOOF HOLDINGS LTD	—	832	372	30,140	資本市場	
QBE INSURANCE	459	235	278	22,588	保険	
WOOLWORTHS GROUP LTD	105	111	443	35,940	食品・生活必需品小売り	
METALS X LTD	1,099	—	—	—	金属・鉱業	
MINERAL RESOURCES LTD	—	28	149	12,103	金属・鉱業	
MACQUARIE GROUP LIMITED	44	34	594	48,176	資本市場	
XERO LIMITED	—	25	381	30,890	ソフトウェア	
PRIMERO GROUP LIMITED	2,800	—	—	—	建設・土木	
DUG TECHNOLOGY LTD	888	—	—	—	ソフトウェア	
UNITED MALT GRP LTD	—	307	127	10,320	食品	
小計	株数・金額	7,276	2,652	5,930	480,184	
	銘柄数<比率>	17	16	—	<89.8%>	
(ニュージーランド)				千ニュージーランドドル		
PUSHPAY HOLDINGS LTD	126	—	—	—	情報技術サービス	
小計	株数・金額	126	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>	
合計	株数・金額	7,402	2,652	—	480,184	
	銘柄数<比率>	18	16	—	<89.8%>	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の&lt; &gt;内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

\* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## 外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(オーストラリア)	口	口	千豪ドル	千円	%	
STOCKLAND TRUST GROUP	156,835	—	—	—	—	
DEXUS/AU	—	42,472	451	36,556	6.8	
合 計	口 数 ・ 金 額	156,835	42,472	451	36,556	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 6.8% >	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

## ○投資信託財産の構成

(2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 480,184	89.8
投資証券	36,556	6.8
コール・ローン等、その他	17,897	3.4
投資信託財産総額	534,637	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 当期末における外貨建て純資産（530,134千円）の投資信託財産総額（534,637千円）に対する比率は99.2%です。

\* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1豪ドル=80.97円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年9月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	534,637,544
コール・ローン等	4,901,141
株式(評価額)	480,184,991
投資証券(評価額)	36,556,121
未収入金	1,919,773
未収配当金	11,075,518
(B) 負債	1
未払利息	1
(C) 純資産総額(A-B)	534,637,543
元本	193,904,354
次期繰越損益金	340,733,189
(D) 受益権総口数	193,904,354口
1万口当たり基準価額(C/D)	27,572円

(注) 期首元本額は258,340,593円、期中追加設定元本額は69,777,799円、期中一部解約元本額は134,214,038円、1口当たり純資産額は2,7572円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・ノムラ・アジア・シリーズ(ノムラ・豪州・フォーカス) 193,904,354円

## ○損益の状況 (2020年9月15日～2021年9月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	27,264,590
受取配当金	27,256,276
その他収益金	10,333
支払利息	△ 2,019
(B) 有価証券売買損益	173,715,673
売買益	188,618,896
売買損	△ 14,903,223
(C) 保管費用等	△ 466,347
(D) 当期損益金(A+B+C)	200,513,916
(E) 前期繰越損益金	253,588,456
(F) 追加信託差損益金	82,149,933
(G) 解約差損益金	△195,519,116
(H) 計(D+E+F+G)	340,733,189
次期繰越損益金(H)	340,733,189

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。